

# Ai情報センターのご案内

市民と医療のセーフティ・ネット

医療の発展のために。  
のこされた方々のために。



そして何より  
せくなされた方のために。

一般財団法人

Ai情報センター

〒104-0061

東京都中央区銀座4-6-10

TEL 03-6228-6990

FAX 03-6228-6991

HP [autopsyimaging.com](http://autopsyimaging.com)

Mail [info@autopsyimaging.com](mailto:info@autopsyimaging.com)

Ai

## 【Aiとは何か】

AiとはAutopsy imagingの頭文字で、日本語訳は『死亡時画像診断』です。御遺体にCTやMRIなどの画像診断機器を用いた新しい死因究明システムです。Ai情報センターは、各施設で発生する死亡時画像に対し、画像診断の専門家が遠隔画像診断システムを用い、客観的第三者の診断アドバイスを行なうことでAi診断の質を向上させAi診断の中立的信頼度を高めます。



## 【Ai情報センターの役割】

Aiは新しい診断分野なので、診断に特殊な専門性が必要となります。画像診断の専門家でも診断に難渋すること多いため、Ai情報センターにAi読影のスペシャリストを結集し、遠隔読影システムで第三者的中立診断を提供することになりました。近年、医療過誤などの問題に対する解決策としてAiが有用であるとの報告があります。ただし、院内事例に対し、院内の読影では、訴訟などの場合証拠として採用されない可能性があります。紛争を未然に防ぐためにも是非Ai情報センターをご活用ください。

## 【Ai(死亡時画像診断)の利点】

- ・遺体を損壊せず、遺族感情に優しく承諾を得やすい。
- ・Ai情報を介して、遺族と冷静なコミュニケーションを取れる。
- ・Aiは安価で診断が迅速である。
- ・Ai画像は客観的第三者にコンサルト可能 (Ai情報センター)  
→ 遺族の信頼を得、医学の進歩達成のために有用な医学検査。
- ・Ai情報センターを利用し、遺族も納得できる状態で異状死届出の判断をできる。  
→ 訴訟のリスクを減らすことができます。



## 【Ai(死亡時画像診断)の欠点】

死因確定率はCTで30%、MRIで50%といわれ、解剖(70~80%)と比べ低率ですが、この欠点を解消するため、初めに遺族にAiの判明率を知らせてから検査し、Aiで死因が判明しなければ、その時は解剖を行う手配すればいいのです。

## 【申し込み方法】

申し込み方法：メールあるいは電話でお問い合わせください。

Mail:info@autopsymaging.com

TEL：03-6228-6990

料金表：読影一件3万円(緊急検査は別途費用)

業務 Ai診断のコンサルト・読影業務

☆本サービスをご利用される場合は、初回のみユーザー登録申請を行ってください。

申請方法は、下記メールアドレスに以下の情報を記載したメールを送信するだけで結構です。

(メーカーに署名をお使いの方はそれで結構です)

【申請先メールアドレス】：touroku@autopsymaging.com

【記載内容】 ・利用者名 ・所属施設名 ・所属部署 ・役職 ・電話番号 ・メールアドレス



## 【Ai情報センター概略】

代表理事 山本正二 (Ai学会理事長 H4年千葉大学医学部卒)

理事 高野英行 (千葉県がんセンター診断部長)

理事 塩谷清司 (筑波メディカルセンター病院放射線科科長)

いずれも放射線科専門医会・医会AiWGメンバーです。